



ほけんだより

きらら保育園 H29. 8月号

7月に入り暑くなったり、涼しくなったりと気候の変化が激しい日々が続いていますね。急な夏は暑さのために食欲がなくなり、体力の消耗が激しく、体調を崩しやすい季節です。そのためより一層子どもの体調への気配りが大切になります。夏風邪、寝冷え、熱中症などに注意して元気に夏を乗り切ってください。

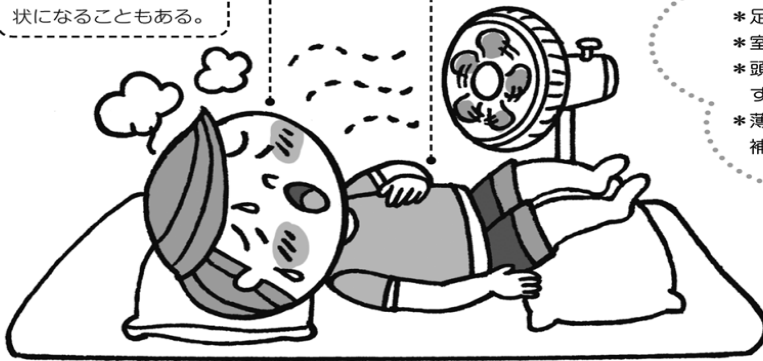
緊急ミニおたより 熱中症

高温多湿の場所で、体内の水分・塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かなくなったりして体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の汗、吐き気や倦怠感などの症状が出ます。

発熱・頭痛・吐き気・息苦しさ

けいれんを起こす、意識を失うなどの重症になることもある。

脱力感・眠気・耳鳴り



まうちでケア

- * 衣服を緩めて、涼しいところに寝かせましょう。
- * 足を少し高めにします。
- * 室内を清潔に保ち、適温適湿を保ちましょう。
- * 頭・わきの下・ももの付け根など、動脈が集中するところを冷やします。
- * 薄めたスポーツドリンクなどで、水分と塩分を補給しましょう。

予防チェックリスト

- 室内環境を整える(扇風機・エアコン)。
- 暑い昼間の外出はなるべく避ける。
- 戸外に出るときは帽子をかぶり、通気性のよい服を着て、日陰で遊ぶなど、気をつけましょう。

保育園では、幼児クラスは園庭遊び中でも水分補給を各自行っています。

自分から水分摂取をとることができない乳児クラスに対しても、午前・午後のおやつの時や園庭遊び後などこまめに水分補給をしています。暑い日が続きますので、朝、しっかり朝食を食べてきてくださいね。

横浜市では手足口病が流行しています

横浜市では7月中旬より流行警報が発令されています。1、2歳のお子さんが多く罹っているようです。

きらら保育園でも疑いの方がいましたが、広がりはありません。今年の手足口病はコクサッキーA6型(CA6)が多くを占めており、従来の手足口病より水疱が大きいことや発症後、数週間後に爪脱落(爪甲脱落症)が報告されています。

潜伏期間: 3~6日

症状: 手・足・口腔内(ときに肘、ひざ、お尻などにも)痛みを伴う水疱が出現。発熱 38℃以下

合併症: ごくまれに髄膜炎、脳炎など重い合併症が起こることがあります。

感染経路: 飛沫感染、接触感染、経口感染

登園について: 医療機関にて医師より集団生活に支障がないと判断され、発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事が摂取出来ていること。

登園時には、保護者が記入する「感染症病状確認書」の提出が必要になります

病後児保育室ひかり利用状況 (H29. 6. 21~7. 20)

利用者: 67人 (きらら保育園: 15人 きらら保育園以外: 52人 小学校: 0人)

年齢別 0歳: 31人 1歳: 16人 2歳: 10人 3歳: 6人 4歳: 0人 5歳: 4人 小学生: 0人

症状別 急性上気道炎: 38人 感染性胃腸炎: 18名 急性腸炎: 7人 急性胃腸炎: 4人

おむつ皮膚炎: 2人 突発性発疹: 2人 発熱: 1人 喘息・喘息様気管支炎: 1人